



●甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から

～一歩ずつ着実な歩みを進めましょう～ 米山 俊彦

●あずさ部長主題：めあて望み ピーター・マウントフォード (甲府)

●東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)

●アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)

●国際会長主題：より良い世界のために、共に A・シャナヴァスカーン (インド)

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2025年6月
No.33

●今月の強調目標

LT・ユース

●今月のことば

「米百俵」

米山 俊彦 君 選

今月の例会案内 (第33回)

●日時：2025年6月4日(水) 18:30～20:30

●会場：山梨YMCA

●会費(食事代):1,000円

- ・開会点鐘 米山 俊彦 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長あいさつ 米山 俊彦 会長
- ・今月のことば 米山 俊彦 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話 「山梨の山々」
前山梨県山岳連盟会長 小宮山 稔 様
- ・諸報告
- ・ハッピーバースデー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo of monthly



【5月14日(水)、5月例会(山梨YMCA)】

5月のデータ

会員数:11名 会員出席:7名
ビジター:ピーター・マウントフォード(甲府)
ゲスト:土屋真人様 例会出席率:64%
ニコニコ:4,000円(ミャンマー地震支援募金)

ハッピーバースデー

メネット 田草川 貴子 (6/9)
仙洞田 克子 (6/12)

アニバーサリー

該当者なし

▼今月のことば▼

米山 俊彦

明治の初期、越後長岡藩は財政が窮乏し、藩士達はその日の食にも苦慮する状況でした。このため窮状を見かねた三根山藩から百俵の米が贈られました。藩士達は、これで生活が少しでも楽になると喜んだが、藩の大参事・小林虎三郎は、贈られた米を藩士に分け与えず、売却の上で学校設立の費用とすることを決めました。藩士達はこの決定に反対しましたが、虎三郎は、「百俵の米も、食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵となる」と諭し、自らの政策を断行しました。米百俵の売却益によって開校した「国漢学校」は、士族だけでなく、優秀な庶民の入学も許可され、後に多くの人材を育て上げることとなりました。

● 担当主事の入会式と不動産鑑定の仕事を理解した5月例会 ●

書記 仙洞田安宏

やまなみクラブ5月例会は、5月14日(水)山梨YMCAで開催されました。今月はワイズの担当主事は初めての田草川啓(あきら)さんの入会式を執り行いました。やまなみクラブとしては、2年前の大澤祥子さんに次いで二人目の入会者です。大澤さんの時は、ご本人の希望で形式的な入会式はしませんが、今回はピーター・マウントフォードあずさ部部长と渡邊隆元東日本区理事の立ち会いで、ワイズの標準的な式次第に則り行いました。米山俊彦会長の式文の朗読に対し、田草川さんから「入会します!」と宣誓がありました。



【田草川啓さんの入会式】

田草川さんは1977年生まれの47歳、1991年13歳の時に甲府ワイズの会員でもあったお父上(その年度のクラブ会長)を亡くしています。筆者は1994年に甲府クラブ入会ですので、残念ながらお会いすることはなかったのですが、渡邊さんが当時の甲府クラブの副会長の一人で、その時の様子を紹介されました。また、米山会長は甲府市役所勤務時代に先輩職員として面識があったとのこと。 (なお、お母上は現在甲府クラブのメンバーです。)

▼ ニコニコメッセージ ▼

▼田草川さん、ようこそやまなみワイズへ!! これから一緒にYMCAとワイズメンズクラブを盛り上げていきましょう。(米山俊彦)

▼不動産鑑定士の土屋真人氏を迎え、最近の不動産の状況、仕事、価格等の卓話を聞きました。資格試験も細かい項目があり、難しい仕事であることがわかりました。(松本公夫)

▼GWはどこへも行かず、ゆっくりすごしました。(藤原一正)

▼Happy Birthday 感謝 (大澤祥子)

ゲスト卓話は、不動産鑑定士の土屋真人(まこと)様に、知っているようで知らない不動産鑑定士の仕事についてお話しいただきました。



【ゲスト卓話者・土屋真人様】

要約すると、

●鑑定士制度が出来た背景

高度経済成長に伴う不動産市場の急激な変化で、再開発や住宅需要が急増し、正確で透明な不動産評価の必要性が求められるようになり、1963年に「不動産の鑑定評価に関する法律」が公布された。

●鑑定士の仕事

就業形態(鑑定会社・独立開業・行政機関・金融機関等)、仕事の種類(公的評価・用地買収・訴訟・競売等)

●鑑定士の現状

有資格者数は全国で8,700人程度で山梨県では19人(内、女性1人)、年齢構成は40～50代が45%程度で最も多い。他の士業との比較で登録者数とその男女比が紹介された。

●鑑定士試験

一次から三次まであり、その間には実務修習が1～2年ある。近年は人手不足で管轄する国土交通省も必死である、などの説明がありました。

さらに、鑑定評価にまつわる疑問や鑑定士としての仕事のやりがいや厳しさも紹介されました。独占業務であるだけに公共性と公平性が求められる重要な仕事であることが理解されました。

諸報告では、チャリティーラン、やまなみ農園、6月例会、グローバルフェスタ等がありました。

ハッピーバースデーで89歳になる大澤祥子さんを祝し、YMCAの歌を歌い閉会となりました。

なお、この日のニコニコはミャンマー地震支援募金として山梨YMCAへ届けました。

出席者メン:米山・松本・渡邊・藤原・大澤・仙洞田・田草川、ビジター:ピーター・マウントフォード(甲府) ゲスト:土屋真人様(卓話講師)

▼田草川さん、入会おめでとうございます。ワイズのことわからないことがあったら何でも聞いてください。土屋様、貴重なお話し、ありがとうございました。不動産鑑定の仕事がよく理解できました。

(仙洞田安宏)

★第3回あずさ部富士北麓評議会報告★

会長 米山 俊彦

気象予報では、悪天候が心配された5月10日でしたが、大きな天候の崩れもなく、穏やかな陽気の中「富士吉田青少年センター赤い屋根」で開催されました「2024-2025年度あずさ部第3回“富士北麓評議会”」へ甲府やまなみクラブから仙洞田さん、大澤さんともに参加しました。全体では、11クラブから45名の参加がありました。ホストクラブの富士五湖クラブ原会長からは、ワイズのメンバーを富士吉田に迎えたことで、富士山が顔を見せてくれることへの期待を込めた歓迎の挨拶がありました。

議案審議では、第1号議案として「2025-2026年度あずさ部活動方針」が、山口直樹次期部長から提案され、承認されました。部長主題はワイズ活動への参加を広く求めるため“垣根を低くし、活発な活動を”と決めました。これを受けてやまなみクラブでも新年度の会長主題を考えなければなりません、悩ましいところです。基本方針では、事業主査の廃止と事業委員会の活性化、ズームによる会長会議の開催、評議会を年2回(あずさのつどい)とする、部報及び部事務局作業の簡素化などが決まりました。

第2号議案では、東日本区からの部助成金削減により予算編成に関する部則、施行細則、旅費補助の内規改定が承認されました。

第3号議案では、東日本区からの部助成金が削減されたことを踏まえた予算編成が行われ、前年比で

56%削減の予算が承認されました。

第4号議案では、あずさ部長を務めた経験を監事の職務に活かすため、監事の任期を2年から1年に短縮する提案が承認されました。

今評議会は、あずさ部活動の活性化を図る一方で、東日本区からの助成金が削減される中、いくつかの制度改正が行われた“改革の評議会”となりました。今後、この改革の趣旨を踏まえ、やまなみクラブとしてもさらなる活動の活性化を図っていききたいと思えます。



評議会閉会后は、富士五湖クラブの望月勉さんによる卓話「剣丸尾赤松林の構造と歴史」があり、山梨県富士山科学研究所の公認自然解説員をされている経験や知識に基づく、興味深い話を聴くことができました。

その後の懇親会では“とんかつ定食”のランチをいただきながら、富士五湖クラブの尾崎夫妻のデュエットによるコンサートを楽しみました。私達世代の青春の主題歌である懐かしのフォークソング特集で大いに盛り上がり、また、懇親を深めました。

♣ やまなみ農園だより ♣

5月23日、サツマイモ(安納芋)の苗を植え付けました(写真左)。また5月29日には玉葱を一部収穫しました(写真右)。乾燥させて、できれば6月15日のソライチ(甲府駅北口・よっちゃばれ広場で毎月第3日曜日開催のフリーマーケット)で販売したいと思います。7月にはジャガイモも販売できればと思います。



▼ 第27回山梨YMCA国際チャリティーラン成功裡に終了 ▼

大会実行委員長 松本 公夫

第27回山梨YMCA国際チャリティーランが、5月24日(土)小瀬スポーツ公園補助競技場で開催されました。前日までの天気予報では雨を心配していましたが、暑くもなく、寒くもなく、丁度良いコンディションに恵まれ、参加者およそ450人(協賛チーム数60、ボランティア・スタッフ150人等)で賑わいました。

昨年に続きゲストとして、山梨学院陸上競技部の選手、県のマスコットキャラクター「武田菱丸君」が応援に駆けつけてくれました。また、チアダンスグループの子供たちが開会式を盛り上げてくれました。レースも昨年同様「幼児の部(宝拾い)」「低学年の部」「高学年の部」「一般の部」に分けて行なわれました。会場の一面では県のパラスポーツセンターの指導員による、ポッチャなどの体験コーナーも設け、賑わっていました。

290万円にもものぼる協賛いただきました企業・団体・個人の皆様に御礼申し上げるとともに、早朝より準備、運営に携われた、Yスタッフ、ワイズメン等関係者の皆さん、お疲れ様でした。

やまなみクラブからは、米山・大澤・仙洞田・松本と、私のYMCA英語教室の旧友・和田幸士さん、渡辺茂さんにお手伝いいただきました。(写真右上)



【中田純子総主事へ支援金の贈呈】



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

2025年5月24日、新緑が美しく輝く中、第27回国際チャリティーランを無事に開催することができました。ご参加いただいた皆様、そして運営を支えてくださったワイズメンズクラブの皆様、心より感謝申し上げます。

当日は朝早くから多くの方々が会場に集まり、子どもたちの元気な声やランナーの皆様の笑顔があふれる一日となりました。皆様のご協力によって、障がいのある方々やそのご家族、そしてYMCAの活動が力強く支えられていることを改めて実感いたしました。私自身も皆様とともに歩みながら、地域の温かい絆を感じることができ、心から嬉しく思っております。

また、今年はチャリティーラン実行委員会の皆様のご尽力により、協賛団体や支援団体の輪がさらに広がったことを実感しています。これからもチャリティーランが地域の皆様の心をひとつにし、子どもたちの明るい未来へとつながっていくことを願っています。そして、誰もが安心して参加できる大会を目指し、皆様とともに歩んでまいります。

YMCAが目指しているのは、誰もが心身ともに健康

で、社会的にも満たされた「ウェルビーイング」の実現です。このチャリティーランを通じて、多様な人々がつながり、支え合い、共に幸せを実感できる社会づくりに、今後も力を尽くしてまいります。

最後に、日頃よりYMCAの活動を支え、ともに歩んでくださるワイズメンズクラブの皆様、そしてご協力いただいたすべての方々に、改めて感謝申し上げます。皆様のご理解とご支援が、子どもたちの笑顔と未来、そして人々のより良い人生を支えています。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

▼ これからの予定 ▼

- ▼6月 7日(土) 東日本区大会(宇都宮)
- ▼6月 9日(月) グローバルフェスタZOOM会議
- ▼6月15日(日) ソライチ(北口よっちゃばれ広場) 玉葱販売
- ▼6月18日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ▼7月 2日(水) 7月例会(山梨YMCA) 定期総会 卓話「街の学習塾70年の歩み」
- ▼7月20日(日) ソライチ(北口よっちゃばれ広場)
- ▼8月 6日(水) 8月例会(山梨YMCA)